



クリストフ・ツーターの「ビャーンヴェニコ・アツ・スイス」

イースター（復活祭）

今回は毎年春に開催されているキリスト教のイースター（復活祭）についてお話しします。イースターというキリスト教（東方正教会、カトリック教、プロテスタント教）の行事は、キリストの復活を記念するお祝いで、キリスト教暦で最も神聖な日の一つです。昔々は、この日にカトリックの洗礼を受ける人が多かったようです。

イースターは基本的に春分の日からの満月の次の日曜日に行われるため、その年によってイースターの日付が変わります。2007年のイースターは4月8日になりそうです。多くのキリスト教の国ではイースターの二日間（日曜日と月曜日）は祭日となり、「春のバカンス」の期間に行われます。

イースターエッグ（イースターの卵）

イースターには色々な楽しい習慣があります。地域によって異なりますが、一般的にイースターのシンボルはイースターエッグです。春になると、卵は命のシンボルとして家族や友達などに贈る風習が昔からあります。古代エジプトとペルシアでは色を塗った卵を親戚や友人に贈る習慣があったそうです。また、古代ローマの人々は春分の日には空気をきれいにするために卵を割る習慣もあったそうです。何世紀を経た今でもこの習慣は残っています。



実際、色を塗ったイースターエッグは13世紀頃からヨーロッパに出現しました。基本的にイースターエッグは赤く塗られたり、絵が描かれている卵で、つらい冬が終わり、暖かい春が訪れたことを祝うために卵の交換が行われました。現在、イースターエッグは大きくて、とても美味しいチョコレートで作られています。実は卵だけではなく、イースターの贈り物として色々な品物も出てきました。例えば、3月になると、鶏や鴨やうさぎなどを型取ったお菓子はどこの店でも売っています。また、イースターの前に子ども達は親と一緒に家や学校でイースターの贈り物を作ることを楽しみます。



スイスや多くのヨーロッパの国では、「イースターの鐘」がローマから飛んできて、庭や室内のあちこちにイースターエッグをまき散らし、子ども達はそのイースターエッグを探しに行く遊びがあります。最も多くの卵を見つけた子どもが勝ちです。このイースターエッグは、親が前もって庭や室内に隠しておきます。



イースターは、春分が過ぎて太陽の力が強くなって暖かくなる頃に行うので、とても陽気なお祝いです。イースターおめでとう！

それでは最後に、今月のフランス語の言葉は「パルドン PARDON!」を覚えましょう。「すみません」を意味する表現です。

ではまたよろしくお願いします。

平成19年度 納税のお知らせ

平成19年度の納税は、下表のようになります。
納期限内の納入をお願いいたします。

納期限	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	5月1日	5月31日	7月2日	7月31日	8月31日	10月1日	10月31日	11月30日	12月25日	1月31日	2月29日	3月31日
住民税（普徴）			1期		2期		3期			4期		
固定資産税	1期			2期					3期		4期	
軽自動車税		全期										
国民健康保険税				1期	2期	3期	4期	5期	6期	7期	8期	

お問い合わせ：鏡野町役場 税務課 ☎0868-54-2985